

あいさつから
始めましょう

地域のコミュニケーションの活性化をはかり、豊かな人間関係と住み良い生活環境を築くため、住民同士で率先してあいさつを交わしましょう。

町では毎月1日と15日に登校時の交通安全指導を実施しています。自治会や各種団体の皆さんにご協力をいただきながら、「おはよう」「いってらっしゃい」などの声かけ活動を実施しています。



登校時の交通安全指導の様子

あいさつは、コミュニケーションの基本です。子ども同士はもとより、地域の大人が率先して出会った方に声をかけ合うことで、豊かな人間関係を育み、住み良い環境づくりを実践しましょう。

あいさつによる声かけをするのは、ご近所に顔見知りが増え、住民間の関係が広がり、地域の雰囲気も明るくなります。

また、災害など、いざというときに、隣近所で助け合う協力体制が作られやすいことや、あいさつを交わすことで相手の顔を認識できるため、犯罪抑止力を高めることにもつながります。

少子・高齢化、核家族化の進行、情報化の進展等に伴い、人と人とのつながりが希薄になっていと言われる昨今、気持ちの良いあいさつを交わすことから、明るく安全で住みよい地域社会づくりを進めていきましょう。

自治活動応援課
☎84・0315



子育てひろポイント 107

Q けんかの対応はどのようにしたらいいか (三歳児)

A 子どもは遊びの中でけんかをよくします。遊具を取ったり取られたり、そんなやりとりの中で謝ることもや仲直りをして遊ぶことを学んでいきます。さらに、このような経験を繰り返すことで相手の気持ちが変わるようになっていきます。

のかを短くわかりやすい言葉で伝えましょう。まだ「ごめんなさい」の気持ちが言葉で伝えられないこともよくありますね。そんなときは、お母さんが一緒に謝ってあげましょう。そんな姿を通して、子どもに謝ることのたいせさが伝わっていきます。

開成町立開成幼稚園
☎82-4247
のびのび子育てルーム
☎83-4198

この年齢の子どもは自己中心的に物事をとらえがちなので、理由もわからずけんかになることも多いですね。子ども同士で遊んでいるときには、安全面に気をつけながら、トラブルにも対応できるように様子を見守ることがたいせつです。お母さんが状況を把握せずに、けんかをした場面だけでしかつてもなせ、しかられたかがわからずしかられたことだけが残ってしまいます。泣いていたらしっかり抱きしめて気持ち落ち着かせましょう。

そして、何がいけなかった



開成町
農業委員が
決まりました

☎農業委員会 ☎84-0317

農業委員会は、地方自治体の組織として設置された、農業全般にわたる問題を農業者の創意と自主的な協力によって総合的に解決していくために、民主的な農民代表機関です。

開成町農業委員会は、選挙で選ばれる10人の委員と、町議会が推薦する委員1人、かながわ西湘農業協同組合が推薦する委員1人の合計12人で構成されています。

主な取り組みとして、農地転用などの農地の権利移動に関する審議や、知事等への建議、耕作放棄地発生防止のための農地パトロール、農業への理解促進のための米栽培体験学習塾の開催などが挙げられます。

今回の委員の任期は、2月1日～平成28年1月31日までです。

井上伊佐男 (下島)	府川 嗣 (牛島)	武藤 忠治 (延沢)	小野 義治 (中家村) 《農協推薦》	辻村 鐘夫 (榎本) 会長職務代理	井上 政則 (上島) 会長
土屋 忠雄 (岡野)	高見澤 哲 (榎本) 《議会推薦》	瀬戸 慎司 (金井島)	高橋 静一 (宮台)	鳥海 巨敞 (円中)	小野 敏晴 (中家村)

現 在二十四名となった0・1歳児たんぽぽ組では、毎日にごやかな声が響きわたっています。四月当初は、お家の人と離れるのが寂しくて泣いてしまう子もいましたが、今ではおしゃべりも上手になり「おはよう」と言って、自ら保育者の所に抱っこされにくる子もいます。

朝の集いでは、おはようのうた・季節のうたなど、子どもたちが楽しめる歌や手遊びをしています。うせんせいおはようみなさんおはようの所では、床におでこがつくまでおじぎをしたり、「せんせいとおもだち」の歌では、となりのお友達と手を握り合い、手をゆらゆらと振ってリズムののってみたりと、かわいい姿が見られます。

外 遊びの準備が始まると、早く帽子や上着を着させてもらいたくて、目をキラキラ輝かせながら順番を待っています。歩くことが上手になり、大好きな滑り台やトンネルで元気に遊んでいます。さまざまな姿が微笑ましく、私達も笑顔になります。

今 生 生 しポート 子どもの友は 「小さな思いやり」

酒田保育園保育士 福住 杏子

前 年度に引き続き、酒田保育園では「手伝う・励ます・ありがと」の行動を大切にした「思いやり保育」に取り組んでいます。0・1歳児の「思いやり行動」を見つけるのは難しいと思いましたが、私達大人が意識を持つことで様々な

うの言葉がけを大切にしています。お友達の名前を呼んだり、「おはよう」と声を掛けたりするのも相手を思いやる行動ですね。小さな発見を大切に、思いやりメッセージ等を通して保育者や保護者の方と共感し合う事で、思いやり保育の充実を目指しています。

た くさんの笑顔に囲まれ、毎日保育をしていく中で、私達保育者が日々子ども達の成長を見逃さずに大切に受け止め、共感していきながら、これから子ども達と一緒に笑顔で過ごしていきたいと思えます。

